

【お産センター建設、医療機材・設備の提供】

カリコット郡内の5つのVDC（村落開発区域）ーパカ（Pakha）VDC、オダナク（Odhanaku）VDC、マルコット（Malkot）VDC、バルタ（Bharta）VDC、ナニコット（Nanikot）VDC ーにて実施



パカ VDC のお産センター。遠くからでも目立つよう、外壁はピンク色に塗装された（2014 年 3 月撮影）



パカ VDC のお産センター贈呈式には、在ネパール日本大使館から経済協力班二等書記官に参列いただいた（2014 年 3 月撮影）



贈呈式にはお産センターで働く医療従事者や郡保健事務所の所長など、多くの人が出席した（2014 年 3 月撮影）



建設したお産センターの入り口には、建設記念銘板を設置した（2014 年 3 月撮影）



オダナク VDC のお産センター。野生動物により建物に被害が及ぶ可能性があるため、敷地を針金で囲み、コンクリ製の門柱も設置している（2014 年 3 月撮影）



オダナク VDC に向かう山道。車両が通れる道路からオダナク VDC までは徒歩 5 時間。お産センターから徒歩数時間のところまで出迎えに来てくれた村人と一緒に歩き、贈呈式に向かった（2014 年 3 月撮影）



オダナク VDC のお産センター贈呈式。ADRA Japan 事業部長の橋本から、お産センターを管理する郡保健事務所のスタッフにお産センターの鍵を手渡した（2014 年 3 月撮影）



贈呈式では、お産センターで出産することの重要性をアピールするため、村人による寸劇も行なわれた。写真中央の青い服の女性が、健康に関する啓発を担う女性ボランティア（2014 年 3 月撮影）



どの VDC でも贈呈式には老若男女を問わず多くの村人が詰めかけ、VDC の総人口の半分以上が集まったこともあった（2014 年 3 月撮影）



マルコット VDC のお産センター。屋根にはソーラーパネル、建物内には 950 ワット分の電力が蓄えられるバッテリーを設置。夜間の出産にも対応できるほか、電気で動く医療機器も使えるようになった（2014 年 3 月撮影）



お産センターの内部。電気は貴重のため、設計を工夫して屋根から太陽光を間接的に取り入れられるようにし、日中は照明を使わずに済むようにした（2014 年 3 月撮影）



マルコット VDC の贈呈式にて、村の女性ボランティアと記念撮影。健康教育や啓発の方法に関する知識をこの事業で行なった研修で習得し、表情は自信に満ちていた（2014 年 3 月撮影）



カリコット郡の郡庁がある町からマルコット VDC に行く途中には、橋が架かっていない大きな川がある。川は人力で動かすゴンドラに乗って渡る（2014 年 3 月撮影）



バルタ VDC のお産センター。山の斜面を切り崩し、平らに整地した場所に建設した。今期、お産センターを建設した村はいずれも平地が少なく、建設用地の確保にも苦心した（2014 年 4 月撮影）



バルタ VDC に提供する資機材を運搬する村人。お産センターを建設した 5 つの村はいずれも車が通る道がないため、すべて人力で運搬した（2014 年 4 月撮影）



事業で提供したベビーウォーマー。カリコット郡は標高が高く、冬季はかなり寒い。生まれたばかりの新生児を温めるベビーウォーマーは重要な機材となる（2014 年 4 月撮影）



ナニコット VDC のお産センター。ナニコット VDC は事業を行なった 5 つの VDC の中で最も僻地にあり、郡庁がある町から徒歩 2 日かかる（2014 年 4 月撮影）



ナニコット VDC の内部。事業で提供した備品や資機材がきちんと並べられている（2014 年 4 月撮影）

【郡病院へのソーラーシステムの提供】



カリコット郡病院に設置した2,100ワットのソーラーパネル。カリコット郡は2013年5月の大洪水により水力発電施設が流失し、以来電気が供給されておらず復旧の見込みも立っていない。電力の安定供給は病院にとって死活問題であった（2014年3月撮影）



冷蔵保存が必要な医薬品を保管する建物（上方の青いトタン屋根の建物）には、1,680ワットのソーラーパネルを提供した。郡病院の電気供給は、すべて本事業で支援したソーラーシステムによる（2014年3月撮影）



カリコット郡病院に設置したバッテリー（右）とインバーター（左）。今後、カリコット郡の発電施設が復旧した際、そこからの電気も蓄電できるようにインバーターも提供した（2014年3月撮影）



予防接種を待つ親子。予防接種用ワクチンは郡病院が保管し各VDCに配付するが、発電施設が流失してからは電気がなく、生ワクチンを適切に保管するのが難しかった。ソーラーシステムを提供してからは適切な環境下で保管できている（2013年9月撮影）

【医療施設管理者などへの機能強化研修】



郡リプロダクティブヘルスケア委員会のメンバーを対象とした機能強化研修の様子。医療施設の適切な管理方法などについて学ぶ機会を提供した（2013年7月撮影）



VDC レベル保健医療施設マネジメント委員会への機能強化研修。郡リプロダクティブヘルスケア委員会への研修と同じ内容で行なった（2013年9月撮影）



研修後、オダナク VDC では建設途中で放置されていた村の簡易保健所の屋根を委員会が自主的に修繕した。写真は修繕前（2013年9月撮影）



屋根の修繕を終えた簡易保健所。投薬や傷の縫合などの医療サービスが提供できるようになり、村の医療環境が向上した（2013年11月撮影）

【医療従事者のスキル向上研修】



インプラント（避妊具）研修により、村の女性たちが避妊を望む際の選択肢を増やすことができた（2013年8月撮影）



実際の医療資材を用いて研修を行なった。処置を受けた女性は避妊を望む方で、同意の上で研修に協力して頂いた（2013年8月）

【青少年に対する健康教育・啓発】



郡リプロダクティブヘルス委員会のメンバーを対象に、青少年に対する健康教育に関するトレーナー養成研修を行なった（2013年6月撮影）



VDCにおける、青少年に対する健康教育研修の様子。各VDCに所属する女性ボランティアが、この研修で学んだ内容を村で伝えていく（2013年9月撮影）



若い母親たちへの研修。研修で知識をつけた女性ボランティアが、母親グループに対して家族計画や産前産後健診の重要性などについて啓発した（2013年12月撮影）



事業スタッフが、村の学校に通う9、10年生を対象に若年結婚・出産の弊害、家族計画の必要性、HIV/AIDSや薬害などに関する啓発授業を行なった（2013年12月撮影）

【マスカンペーン】



オダナクVDCの簡易保健所内に設置したリプロダクティブヘルスコーナー。冊子やパンフレットを置き、村の青少年が性に関する情報を得られるようにした（2014年2月撮影）



ティリプVDCの簡易保健所内に設置したリプロダクティブヘルスコーナー。お産センターを建設した5つのVDCの他に9つのVDCに啓発コーナーを設置した（2013年12月撮影）